

珠洲の林と海で癒やし

鉢ヶ崎リゾートが初開催



来場者
— 珠洲市蛸島町の鉢ヶ崎ケビン

珠洲市蛸島町の鉢ヶ崎リゾート振興協会による初のイベント「わくわく癒やしデー」(北國新聞社後援)は4日、同町の鉢ヶ崎ケビンと鉢ヶ崎海水浴場で行われ、観光客が林の中のマ

行列の参加者募集
穴水・長谷部まつり
穴水町観光物産協会は、7月17日に開催する第54回長谷部まつり(本社後援)

の「信連行列」などの参加者を募集している。行列の主役となる長谷部信連は25〜50歳の男性、奥方は20〜30歳の女性、若君は小学3、4年生男子、姫君は小学1、2年生女子から募集する。このほか、武

将は16〜50歳の男性で26人、女武将は16〜50歳女性で20人を募る。いずれも町内在住または勤務者が対象となる。

河北潟干拓地で
除草やごみ拾い
周辺農家や環境団体
河北潟干拓地周辺の農家や環境団体でつくる「グリーン・アース農地・水環境保全組織」の一斉除草は4日、同干拓地の幹線道路沿い防風林帯で行われ、約250人が雑草を刈り、ごみを拾い集め

まちづくり案
中学生が議論
七尾JCワークシヨップ
七尾青年会議所(JC)の「白熱教室第2回ワークシヨップ」(本社後援)は

4日、七尾サンライフプラザで開かれ、地元中学生4人が七尾城跡を生かしたまちづくりのプロジェクトについて話し合った。

たい「休憩用のベンチを置きたい」など意見を述べた。今後は7月の発表に向けて、プロジェクトの内容を決める。

除草は4日、同干拓地の幹線道路沿い防風林帯で行われ、約250人が雑草を刈り、ごみを拾い集め

正御影供で秘仏
20年ぶりに開帳
穴水の地福院

檀信徒は剣詩舞を披露したり、御詠歌を唱えたりして、宗祖弘法大師に感謝をささげた。法会は、穴水町や輪島市、能登町の10寺が当番制で毎年営んでいる。

あばれ祭ムード高まる
7月1、2日に能登町宇出津で行われる

輪島漆器商の漆器祭Ⅱは輪島市河井町営まれ、約40苦をしのび、いを新たにし

輪島漆器商の漆器祭Ⅱは輪島市河井町営まれ、約40苦をしのび、いを新たにし「地の粉発神事が行われ、市長、梶文秋市長、市議会議長、市議会議長、里谷会議所会頭、塗技術保存会

青年有志の実行委

羽咋の獅子舞映像で伝承

中能登地区の青年有志でつくる「はくい獅子舞保存活性化実行委員会」は今年度から、羽咋市内の獅子舞の全演目を映像に収める。少子化による担い手不足で継承が危ぶまれているとして、国補助を得て3年計画で撮影する。すでに獅子舞の種類や分布調査や地図製作、各町会が所有する獅子頭の写真撮影を進めており、羽咋の獅子舞文化を後世に伝える。

3年計画で全演目

実行委は昨年1月に結成され、羽咋市宝達志水町、中能登町の30代7人で構成する。実行委によると、羽咋は能登でも獅子舞が盛んで、能登獅子、氷見獅子、加賀獅子が混在していることが特徴となっている。羽咋独特の獅子舞文化を保存するため、実行委は昨

年度と今年度、文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の採択を受け、町会への聞き取り調査を進めてきた。調べによると、市内の全66町会のうち獅子舞を継承する町会数は、ピーク時の59から36に減少し

千枚田の田植え
大学生が助っ人
北陸三県、地元住民と交流

農村ボランティア
シバザクラ植える
中能登
地元の耕作ボランティア「白米千枚田愛耕会」が指導し、田植え後は交流会が開かれた。

分布や獅子頭も調査



獅子舞調査について意見を交わす実行委のメンバー — 羽咋市歴史民俗資料館

実行委は昨年度、52町会から獅子頭を借り受けて写真に残し、一部町会の演目をビデオカメラで撮影したほか、能登、氷見、加賀獅子の分布地図の作製も始めた。3日に羽咋市歴史民俗資料館で開いた会合では、保存活動を本格化する今年度、まず14町会を対象に獅子舞の全演目の映像を収録することを申し合わせた。

「農業農村を応援する大学生サークルネット」のメンバー約30人は4日、輪島市の国名勝「白米千枚田」で、伝統農法「水苗代」で育った苗の田植えに汗を流した。

岡田氏必勝期し
後援会・励ます会
自民かほく市支部
自民党かほく市支部は4日、同市七塚健康福祉センターで、参院選県選挙区に出馬する自民現職岡田直樹氏の同市後援会総会・励ま

す会を開き、必勝を期した。後援会長に議が就いた。力を挙げて「たい」とあい茂男県連会参院議員、谷県本部幹事